

2019年（令和元年）JRA同好会開催！

6月15日、@東京競馬場

幹事 丸山暢久（4組）

今年も競馬新聞「日刊競馬」前編集長の柏木集保（本名：保衛）君（4組）の協力を得て、6月15日（土）に12回目の同好会を開催することが出来た。

例年のようにダービールームを使つての観戦であるが、今年はいつものメンバーが事情により欠席で参加者集めに一苦労した。最低でも13名程度でないとコストに見合わないのでは最後は家族総出も想定しつつ勧誘に走る。最終的には同期7名、賛助会員（含む臨時会員）8名、合計15名の参加で何とか開催できた。

今回は上田から布施修一郎君（6）、吉田一雄君（1）、安川荘太郎君（7）の3名が馳せ参じてくれて大変助かった。関東からは柏木君、塩川明男君（6）、成澤文和君（4）と丸山の4名。前日から猛烈な雨との予報で開催可能か心配したが、当日の午前中はそれほど降る雨。午後はかなり強めの雨ながら最終レースまで無事観戦。

扱、ダービー馬「マカヒキ」の名を打った部屋に入り戦闘態勢に入る。が、その前にビールや飲み物で“乾杯”しつつ4レースから開始。今日は平場のみで雨模様。大きな配当が見込めそうなレースが大半で徐々に雰囲気盛り上がる。更に前日に馬への禁止薬物（実際は競馬会公認の餌に含まれていたカフェイン系のサプリ）が発覚し、函館開催他のレースも含めて150頭程が出走取り消しになった。依って東京競馬場でも各レース平均1~2頭が出走できず、馬にとってはとんだ災難であった。

そんな状況の中で飛ばしたのは塩川君唯一人！ 購入金額は少なかったが万馬券をヒット！！ 女性軍は買い方も分からずに俄か勉強の100円で1点買いが見事的中！ 380円付いて正味280円儲けからスタート。8階にあるこのダービールームは16部屋の当該部屋のお客だけなので100円券を買いに行っても全く不自然でないのが嬉しく又、平和である。

ホテルオークラのバイキング料理が部屋に運ばれてくると皆おもむろに食事に入る。

話は戻るが賛助会員の中にはかなり馬通が居り、彼方此方のレースに多忙の様子。程々の戦果の模様だが高配当のレースを僅か外して地団駄も。上田組はかなり苦戦。名譽の為に戦果は省略。と言う私も2勝6敗で金額も負け越し。女性軍は少額投資ではあったが徐々に深みに入る様が垣間見えた。

こうして賑やかに開催の同好会も無事に終了し、多くの参加者から「来年も是非」と言う嬉しい希望も戴き、まだまだ柏木君には骨を折ってもらわねばならない！と腹の中では思った次第。雨なので記念写真は3階の大きなレース写真の前で撮影。

次のお座敷は布施君の案内で谷中の焼き鳥屋「鳥真」と言う処。安川君は鳥が苦手と言う事で先に上田に向かった。同期6名で特に塩川君の戦果抜群を祝って乾杯！旨い焼き鳥に舌鼓を打ちながら世間話に弾む。柏木君からも同好会を成立させるべく今後も会場を確保するという力強い言葉で皆を安心させた。

来年は大勢の同期の参加で盛り上げたい。

と言う処で上田組は新幹線の時間が迫り、谷中駅で解散。

それにしてもこの同好会がここまで続くとはスタートした頃には全く想像しなかったが、色んな同期、賛助会員の協力者が集い、当該協力者ともすっかり親しくなり、嬉しいことが多い。将来、この会が終わる時は大々的な解散会を考えねばならないとつくづく思った次第。(2019年6月20日記)

【写真：左から柏木、安川、吉田、布施、塩川、成沢、丸山】

